

## Japan Business Association of Southern California

1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248  
Phone : 310-515-9522 Fax : 310-515-9722

<http://www.jba.org>



去る2017年11月、JBAが設立母体であるロサンゼルス補習授業校、あさひ学園高等部で弁論大会を行った。在籍する高校生64名が、多くの聴衆の前で個性豊かな弁論を繰り広げた。最優秀賞に選ばれた生徒の弁論を紹介する(詳細はp.4-6)。

## 2 会長からの新年の挨拶

## 3 総領事からの新年の挨拶

- 4-6 あさひ学園高等部弁論大会最優秀賞受賞弁論の発表
- 7 異業種交流会(ミキサー)報告
- 8-9 会員企業インタビュー「私のLAライフ」
- 10-11 各部会からのお知らせ
- 12 1月・2月のJBAイベントカレンダー



JBA会長  
石川 斉

## 新年、明けまして おめでとうございます。

昨年中も JBA の各種活動にご理解とサポートを頂き、誠に有難うございます。JBA は常任理事会、役員会と 7 つの部会（商工部会、企画マーケティング部会、教育文化部会、あさひ学園部会、ダウントウン地域部会、サウスベイ地域部会、オレンジカウンティ地域部会）で積極的な活動を行っている事は皆様ご存知の通りですが、昨年も部会によるイベントも含めて、延べ人数にすると 6,000 人以上の方々にご参加を頂きました。これらの活動は JBA のミッションである「地域社会との関係強化」「教育支援活動」「会員サービス」を具現化しているもので、本年も益々、活動を充実させていきたいと思えます。

さて、昨年は JBA を取り巻く環境に大きな変化がありました。その最大なものは勿論、トランプ政権の誕生でしょう。大統領選挙中の奔放な言動は大統領になれば是正されるとの大方の予想を裏切り、同大統領が世界一の大国であるアメリカをどの様な方向に導こうとするのか、未だに明らかにならない状況にあります。幸い、日米関係については安倍総理大臣とトランプ大統領の個人的な信頼関係を基に極端に揺らぐ事はない様にも思えますが、「Make America Great Again」の下、貿易赤字の是正が声高に叫ばれる等、我々企業人には今後大きな影響が出てくる可能性もあります。トランプ大統領の施策にはアメリカ内部でも賛否両論があり、言わばアメリカ自身がトランプ大統領の誕生に戸惑っているとも思えますが、日本企業がアメリカでビジネスを進める上ではどの様な環境に於いてもいずれにせよ地域社会に根ざし、その理解を得ていく事が重要と思えます。JBA としても“地域との共生”を目指して更なる活動を進めていきます。

もう一つの大きな変化は、南カリフォルニアに進出していた大手日本企業の他州移転です。カリフォルニア州の労働規制や環境規制がアメリカで最も厳しいレベルと言われている事はご存知の通りですが、これらが要因の一つであったとも考えられます。JBA では毎年 6 月の州都サクラメント訪問の際に、州政府機関と面談し、進出日本企業に対するサポートをお願いしています。過去からの継続的な投資による雇用創出もあり、日本企業の地域経済に対する貢献は高い評価を受けており、州政府機関は総じて好意的です。しかしながら、近年はアジア諸国の猛追もありこの評価は必ずしも将来に亘って磐石とは言えません。World Trade Center Los Angeles とタイアップし、日本企業の貢献を更にアピールするといった活動も行っていますが、草の根レベルから地道にアピールを続ける事で、その評価を揺ぎ無いものにしていきたいと思えます。皆様にもこれらの JBA 活動に更にご理解を頂くと共に、引き続きご協力をお願い申し上げます。

末筆とはなりますが、2018 年が皆様にとって素晴らしい一年となります様、心よりお祈り申し上げます。





在ロサンゼルス日本国総領事

千葉 明

## 新年明けまして おめでとうございます。

旧年中は当館の業務に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。また、長年にわたり教育支援や雇用の創出により地域へ貢献いただいていることに対しましても、この場を借りて御礼申し上げます。

昨年はトランプ大統領が就任し、その手腕に世界の注目が集まる中での新政権の船出だったわけですが、これまでのところ米国経済は安定を保ち、景気の好調も当面続くとの見方が大勢を占めています。特にカリフォルニア州は米国経済を牽引しており、当館所管の南カリフォルニア9郡のGDPは約1兆4千6百億ドルと韓国よりも多く、ロサンゼルス大都市圏だけを見ても、そのGDPは1兆2千億ドルと、とうとうメキシコを上回る数字となりました。

このような中、日系企業による米国への貢献は顕著であり、対外直接投資額は英国、カナダに次いで第3位となっています。わけても、当地においては日系企業の信頼の高さと地域経済への貢献は絶大であり、WTCLA (World Trade Center Los Angeles) による今年のFDI (Foreign Direct Investment) レポートでも、昨年に続き日本が第1位と報告されております。まさにJBA会員企業をはじめとする皆様方の尽力によるものであり、トランプ政権に対してはこの実績を引き続き積極的にアピールしていく必要があると考えます。

当館としましても、ここ南カリフォルニアにおける日系企業のプレゼンスの向上に努めるとともに、ビジネス展開へのご支援に、本年も全力を挙げて取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、会員企業各位の一層のご発展と、この新しい年が皆様にとりましてより良き年となることを心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



# あさひ学園高等部弁論大会 最優秀賞受賞弁論の発表

あさひ学園高等部では、2017年11月11日にオレンジ校にて、18日にトーランス校にて同校とサンタモニカ校との2校合同での弁論大会を行った。在籍する高校生64名が、多くの聴衆の前で個性豊かな弁論を繰り広げた。それぞれの大会で最優秀賞に選ばれた生徒の弁論を紹介する。



オレンジ校大会最優秀賞を得た中島さん。

## ●オレンジ校大会最優秀賞 「日本人の責任～核との戦い」 オレンジ校高等部2年・中島和基さん

1945年8月6日午前8時15分。歴史上初めて、原子爆弾が投下されました。この広島原爆を知らない日本人はいないでしょう。もちろん僕も歴史の事実として知っていました。

けれども、ある夏、祖父が僕に聞かせてくれました。祖父のおじさんは、この原爆で消えてしまった…。そのおじさんは、戦時中NHKのジャーナリストとして、広島局で働いていたといいます。そして、あの日を迎えたのです。爆心地からすぐそばだった放送局で、まだ若かったおじさんの命は一瞬にして消えました。遺体はもどりませんでした。「おそらく爆発の激しい熱線で、跡形もなく消えてしまったのだろう」と祖父は語りました。当時、おじさんの母親は、遺体もどらない息子の死を決して信じようとはしませんでした。それから、何年も息子の帰りを待っていたといいます。僕の祖父は、子どものころ、ある日突然「墓石をとってこい」とおじさんの母親、つまり祖父の祖母に頼まれたのをはつきりと覚えていました。その墓石は、原爆で消えたおじさんのものでした。何年も

帰りを待ちながら、とうとうおじさんの死を認めたのでした。僕はこの話を聞いて、どう答えたらいいのかわからなくなりました。まさか自分の家族にも、原爆の悲劇が降り注いでいたとは、考えもしませんでした。

僕はそれまでも、戦争や原爆のことにとても興味がありました。小学校六年生の夏には、広島に行ったこともあります。真っ先に向かったのが、平和記念公園でした。その時見た原爆ドームを僕は一生忘れません。焼けただけ破壊されたドームは、にぎわっている広島市街と非常に対照的に見えました。そして、平和記念資料館では、さらなる衝撃を受けました。ぼろぼろに引き裂かれた小学生の制服。投下直後の写真。8時15分を永遠に指し続ける黒焦げの腕時計。原爆の残酷さを当時のものが静かに僕に訴えているようでした。僕にとっては、第二の母国のようなアメリカが、母国日本にどんなことをしたのか。歴史の事実として知っているだけだった原爆が、実感を持ってせまってきました。アメリカで15年以上育った僕ですが、今までになくアメリカに対する強い怒りと憎悪を感じました。また、この想像を越える地獄のような爆弾を必要だったと言う多くのアメリカ人に対しても、激しい怒りを感じました。同時に、「原爆を投下したアメ

リカによく暮らしているな」という自分自身に対するがめのような気持ちもわいてきました。僕の中にある日本とアメリカ両方に対する愛着が、何かとても矛盾するもののように感じました。

広島資料館訪問。そして、その原爆が、僕の家族にもつながっていたということ。それからというもの、僕は、いろいろと原爆や核兵器について調べました。近代的な核は、広島原子爆弾の何百万倍もの破壊力があるといいます。しかも現在一万五千発の核兵器が常に発射可能であり、核は今も減ることなく増え続けています。その現実には、僕は愕然としました。核は通常兵器と違います。広島では、爆破したときの激しい熱線と爆風により、一瞬にして、何千人もの命が奪われました。続いて炎の台風のような風が街を襲い、すべてを焼き尽くしました。次に放射能を含む雨、黒い雨が降り注ぎ、それに触れた人を原爆病にしました。そして最後に、強い放射能を浴びた何万という人がその後の人生で、がんを発症したり、白血病になったりして死んでいくのです。こうして原爆は、投下された日から今まで、多くの人と、その子孫を苦しめています。核兵器は、世代を超え、長期間人間を破壊し続ける恐ろしいものです。



## オフィスの移転・改装は「オフィス設計」



Office Sekkei America, Inc.  
☎ (310) 715-1001 ✉ la@officesekkei.com  
www.officesekkei.com/english



- 設計・レイアウトデザイン
- 各種内装工事
- オフィス家具
- 電話・LAN・セキュリティー
- 引越・移転作業
- プロジェクトマネジメント
- コストマネジメント

今現在、核をめぐる、アメリカと北朝鮮の対立が問題となっています。抑止力といつつ、世界は依然として核の脅威に支配されているようです。最近よく報道されるように、北朝鮮の核ミサイルが威嚇ではなく、本当に東京の上空に飛んできたらどうでしょう。広島・長崎を超える悲劇が起こります。想像ただけでぞっとします。持っている力(核)を手放す、放棄する…ということは、実際のところ、とても勇気のいることでしょう。現実として不可能に感じられるかもしれませんが、それでも僕は、真剣に核軍縮を考え、取り組むべきであると思います。「手放す。放棄する」ということほど、確実なことはいからず。

この夏、僕は、もう一度、アメリカ人の友だちと一緒に広島平和記念資料館を訪ねました。そこで、九十歳になってもなお原爆について語り続ける被爆者の生々しい話を聞きました。七十年以上も前の出来事を昨日のように語るその方の姿を見ながら、僕は、「この人の戦いはまだ続いている。七十年たっても核と戦っている」と感じました。このように、原爆は、七十年以上も前の出来事でありながら、多くの日本人にとって忘れられない悲劇です。けれども、落とした側にはそれほどではないようです。被爆者の講演を聞きながら携帯ゲームをやめないアメリカ人の若者を見て、僕は驚き、心の底から強い怒りを感じました。原爆を落とした側は、それについてほとんど何も知らないし、興味がないのです。

日本では、戦後76年。しかし、世界は、それでも戦争を続けています。戦いは、テロという形に変わりながら、争いと報復には限りがないようです。どんなに悲惨だとわかっていても、人間は戦争を続けるのかもしれない。けれども、戦争や核兵器の放棄を訴えることは、決して無駄ではないと僕

は信じます。がんを完治するのが今の段階では難しいけれど、治療法を開発することは決して無駄ではないのと同じです。「戦争、核」という死に至る病を持っている人類。この病がこれ以上暴走しないために、戦わないこと、核を放棄することを訴え続ける必要があると思います。そして、それは日本人の役目であると確信します。世界でただひとつ。日本だけが経験した原爆。核兵器の恐ろしさ。悲しみ。痛み。その感情を自分のものとして知っているのは、日本人です。その意味において、僕は日本人として、何らかの形で核の問題に関わり続けたい。そして、「原爆・核兵器」の恐ろしさ、むなしさ、愚かさを伝え続ける者になりたいと思っています。

### ●トランス校・サンタモニカ校

#### 大会最優秀賞

#### 「真の指導者とは

#### —私が理想とするリーダーシップ—

トランス校高等部2年・小松あろはさん

誰でも人生で一度は「この先生嫌い!」や「このコーチつまらない」などという感情を抱いたことがあるでしょう。もし、「そんなことはない」と言い切れる人がいるとすれば、その人はよほど運が良いです。

昨年、私はマーチングバンドで最年少のセクションリーダーとなりました。リーダーになるためには、数々のオーディションを通過しなくてはなりません。そのオーディションの中には、バンドの指揮をしたり、新入生に立ち位置や歩き方を教えるなど、リーダーとしての「指導力」が試されるものもありました。このようなオーディションを経てリーダーとなった私は、自分の指導力に自信がありました。しかし、実際にリーダーになってみると、自分にはまだまだリーダーと

して未熟な点がたくさんあるということを感じ知らされました。例えば練習の時、バンド仲間の意見を全く聞かず、一方的に自分の意見を押し付けてしまったり、自分自身も完璧ではないのに、それに気づかず、「あなたはまだこれができていない」とか、「なんでできないの?」などと、感情に任せて仲間を叱るうちに、自分がつくづくリーダー失格だな…と思うようになりました。そして「このままではだめだ。自分のやり方を変えなければそのうち誰もついて来なくなる」ということが自分でもわかりました。私はリーダーという立場に立って初めて、「真の指導者とは何か?」「リーダーとはどういう存在なのか?」真剣に考えました。「真の指導者」に近づくためには、どうしたら良いのでしょうか。

私は今年の夏、ある映画と出会いました。その映画『Glory』は1861年に起こった南北戦争の時、北軍の大尉、ロバート・グールド・ショーと黒人連隊の絆を描いた作品です。ショーは、黒人部隊、第54マサチューセッツ志願歩兵連隊の隊長として、素晴らしい指導力を発揮しました。私は彼こそが「真の指導者」だと思いました。理由は二つあります。一つは彼が他の軍人とは違い、黒人を差別しなかったことです。当時、黒人は肌の色が違うというだけで給料が白人の軍人より3ドルも低かったのです。今、3ドルと言えば大したことはありませんが、その当時はとても大きな金額でした。それを知ったショーは、自分の小切手をその場で破り捨て、黒



トランス校・サンタモニカ校大会最優秀賞を得た小松さん。

**IACE TRAVEL**

法人のお客様へ

IACEトラベルマネジメントシステム

**TMS**

ご出張のコストを一括管理

24時間365日営業

安心のバックアップで

突然の出張でもしっかりと

対応いたします

出張以外にも大人気のクルーズや

アメリカ国内旅行、パッケージなど

プライベートでもご利用ください!!

24/7 OPEN

1-877-489-4223

北米予約センター

トルフリー ヨヤク I A C E

ロサンゼルス支店 310-323-5551

ウェストLA支店 310-445-1401

オレンジカウンティ支店 714-557-7772

サンディエゴ支店 866-924-4223

クルーズ課 877-224-4223

CST#206672640

人兵が正当な報酬をもらえるまで断固として戦いました。今から150年前のアメリカでは、黒人差別は北部においても常識的な習わしでした。彼のように常識や偏見にとらわれず、部下のためには自分を犠牲にしても正義を貫ける人物こそリーダーの器なのだと思います。二つ目は、ショーが実戦においても、一番先頭に立って敵軍を攻めたことです。ワグナー要塞攻略では敵軍の陣地に向かって、乗っていた馬から降り、先頭に立って黒人兵を従えて戦いました。指導者とは、どんな危険な状況にあっても、自らが先頭に立って戦うことができる人だという確信を得ました。

ところで、話は変わりますが、みなさんはGDPとは何か知っていますか？ GDPは国内総生産のことです。国内総生産とは、その国の国民が一年間に稼いだ金額の合計です。世界のGDPを見ると、日本は、アメリカ、中国に続いて第3位です。つまり、日本人が一年間で稼いだ総額は世界中のほとんどの国を大幅に上回っているのです。地球儀の中の日本を見てください。日本は小さな島国です。にもかかわらず、これだけの経済力を誇る日本は、世界のリーダー

になる素質が十分あると言えます。例えば、第二次世界大戦中、日本は少ない予算と資源の中でゼロ戦を作り、世界をあっと言わせる飛行機工学の技術を示しました。さらに戦後はトヨタ自動車が、格安で世界一壊れにくい小型車を提供しました。当時、自動車産業の大元締めであったフォード自動車より、値段の面で求めやすく、安全性の高い車を作ることで、一躍世界のトップに躍り出た日本の技術力は世界に誇れるものです。ですが、日本はそれを世界に十分発信できていません。さまざまな科学分野の研究において世界に誇れる技術を持つ日本、国内総生産第3位の日本は、もっと自分の国に自信をもって日本の優秀な技術を世界にアピールしなければもったいないと思います。

つい最近まで、私は自分が将来日本のグローバル社会に貢献するために通訳になろうと思っていました。ですが、最近ではむしろ、「通訳される側になってやろう」と思うようになりました。つまりそれは、通訳を通してでも「私の意見を聞きたい」と思われるような人になるということです。

皆さんにとって「リーダー」の定義とは何ですか。私の理想とするリーダーは、「月のような人」です。「え？ 太陽の間違いでしょう？」と言うかもしれませんが、リーダーとは、実は、日中に明るく光って目立つ太陽ではなく、みんなが寝静まった夜に、そっと見守ってくれる月のような存在だと私は思うのです。人が見ていないところで、さりげなく夜道を照らし、道しるべになり、安全な旅を見守る。そんな人こそ真の指導者ではないでしょうか。私はいつか日本が世界のリーダーとなることを信じています。そして将来、私も月のような指導者になって日本を世界に導く手助けがしたいです。

ご清聴ありがとうございました。



トランス校・サンタモニカ校弁論大会参加者、教員、来賓ほか。



<http://5shiki-print.com/> 五色印刷 検索

Mon-Fri 9 am - 6 pm / Saturday 10 am - 5 pm

**TOLL FREE : 888-316-7177**

24時間メール受付中!!

**E-Mail [usa@5shiki-insatsu.com](mailto:usa@5shiki-insatsu.com)**

<West> 18023 Skypark Circle Suite M Irvine, CA 92614

<East> 170 South Van Brunt Street, Englewood, NJ 07631

画像切り抜き・画像トレース・MAP制作・組版・文字入力・翻訳・スタンプカード・デザイン制作  
紙媒体・ホームページ・バナー広告・看板・化粧箱・スタンプカード・他・各カタログ・冊子・チラシ・ポスター印刷  
名刺印刷・はがき・同人誌表紙・スタンプカード・新聞折込み・ポスティング・スタンプカード

# 日本語完全対応の印刷会社

印刷会社とコミュニケーションを取る上で、日本人同士なら何の問題もないはずの「微妙なニュアンスや価値観の違い」にお悩みではありませんか？

私達は世界を股にかけて活躍する日本人の皆さまを印刷、デザインの面でバックアップしていきます。

企画マーケティング部会

# 飛行機を間近に見ながらの 異業種交流会 (ミキサー) 開催

去る2017年11月16日、ロサンゼルス国際空港横にある、17年にリニューアルオープンしたばかりのレストラン、The Proud Birdで異業種交流会 (ミキサー) を開催した。参加者は、空港に着陸する飛行機を間近に眺めながら積極的に交流を図った。(皆さんのお名前は左から)



「3カ月前に赴任して参りました。思い返せば最初に海外出張したのは、ここLAでした」(Deloitte LLPの池田さん)、「2週間前に着任しました。実は兄が二十数年前に同じLAのトランスに赴任していました。縁を感じる都市に来られて幸せです」(Sapporo U.S.A., Inc.の富岡さん)。



「日系企業の皆さんと交流を図りたいと思って、参加しました」(SoftBank Telecom America Corp.の池嶋さん)、「参加するのは4回目ですが、毎回新しい方と出会うので楽しみにしています」(同・ベッカーさん)、「できるだけ名刺交換できればと思います」(同・臼井さん)、「1年の研修で来ています。他の企業の方々にお会いして勉強できればと思います」(同・川崎さん)。



「場所が良いと聞いたので1年ぶりに参加しました」(Creek & River Globalの木村さん)、「JBAに入会したいというのと、人脈を広げる意味でうかがいました」(New York Life Insurance Companyの清武さん)。



「いろいろな業種の方と仕事を越えた話ができればと思っています」(IACE Travelの田中さん)、「久しぶりの参加で、その分さまざまな方に会えるのを楽しみに来ました」(Lighthouseの寺島さん)、「飛行機を見るのを楽しみにして来ました」(同・古茂田さん)。



「今日は飛行機を見に来ました。大好きです」(Office Sekkei America Inc.の目下部さん)、「古い飛行機がたくさんあって歴史オタクにはたまらない会場です」(PDM, LLPの酒井さん)。



「いつもと違うエリアで、来られている方もいつも違って面白いなと思っています」(KDDI America, Inc.の高松さん)、「エントランスに飛行機がたくさん展示してあって、素敵なレストランでデモンションが上りました」(KEY International Inc.の遠藤さん)。



「空港近くでの開催ということでも楽しみに参りました。企画マーケティング部会長を2年やっているのですが、ミキサーの参加は初。もっと参加しておくべきだったと後悔しております(笑)」(日本航空の栗原さん)、「サンフランシスコから初めてお邪魔しました。どういう人に会えるか楽しみです」(HULFT, Inc.の丸山さん)。



「日系企業の皆さんのお手伝いができるきっかけになれば良いなと思って参りました」(PricewaterhouseCoopers LLPの結城さん)、「たくさんの方との交流を目的に来ました」(Pacific Guardian Lifeのジョーンズさん)。



「何回も来ていますが、いつも新しい出会いがあるので楽しいです。この場所も新しい発見で感動しています。今度家族を連れてきます」(interesse international inc.の菊池さん)、「飛行機が大好きなので、仕事も趣味も同時にできる最高のミキサーです」(Panasonic Avionicsの増田さん)。

## 北米・中南米で展開する日本企業のビジネスを支える 先進多彩なICTソリューション

1990年の創業以来、多彩なICTソリューションで、1000社以上の在米日系企業様のお手伝いをしてきました。今日まで培ってきた高い技術力と想像力で、システムの設計、構築から運用保守まで、トータルなITサポートをご提供いたします。

### システム インテグレーション

- PC, ネットワーク, サーバ, ストレージ, 仮想化
- セキュリティ対策
- 電話システム, VoIP, ワイヤレス
- オフィス, 工場の新設 / 移転, 各種ケーブルリング

### ビジネス ソリューション

- ERP 要件定着コンサルティングサービス
- Microsoft Dynamics シリーズ 各種導入サービス
- POS システム導入
- 製造工程管理システム導入サービス

**SYSCOM**  
(USA) INC.  
ICT Solutions Company

### カスタマー サポート

- システム運用, 24 時間 365 日, 保守監視サービス
- ヘルプデスク / IT 要員 スタッフینگサービス
- オンライン・オフラインサポートサービス

### クラウド ソリューション

- クラウドコンサルティングサービス
- クラウドシステム構築, 運用サービス
- 各種 IaaS/SaaS (Email ホスティング, VPS, リモートバックアップ等)
- データセンタロケーションサービス

ITのことならどんなことでもお問い合わせください!

WWW.SYSCOMUSA.COM

SALES@SYSCOMUSA.COM

**SYSCOM**  
(USA) INC.  
ICT Solutions Company

おかげさまで支店開設19年目

LA 支店: Torrance  
p.310-965-4100

NY 本社: Manhattan Wall 街  
p.212-797-9131

SF Bay Area 支店: San Mateo  
p.650-294-2500

Tokyo 支店: 丸の内  
p.03-3216-7351

# インタ 私のLA

ロサンゼルスで活  
企業の皆さんの、企  
姿と、オフの素顔を



Pulstec USA, Inc.  
Vice President

すずき としかず  
**鈴木 敏一** さん

## X線残留応力測定器の 米国市場を開拓中

1972年静岡県生まれ。湘南工科大学電気工学科卒業後、94年にパルステック工業株式会社に入社。光ディスクの規格・品質を計測する評価装置の設計および開発に10年間従事した後、海外向けカスタマーサービス部署を経て、2007年にLAに赴任。

### 自分にしかない強みを 活かして

1994年にパルステックに入社後、10年にわたりDVDやBlu-rayなど光ディスクの規格や品質を計測する評価装置の設計・開発に関わりました。具体的には電子回路を設計したり組み込み用のコードを書いたりという仕事です。その中では、例えばデジタル回路を極めるなど専門家になる道もあったのですが、一部を知るのではなく全体を捉えたいと、デジタルもアナログ回路設計も制御も組み込み用ソフトもとさまざまなことをやらせてもらいました。10年経った時に、海外向けカスタマーサービス部署へと異動。せっかく機械のいろいろなことを学んだのだから、その外側に手を出していくのも道ではないかと思ったのです。

また理系の人間にしては珍しくと言うのか（笑）、お客様とって話をするのも好きだったので、設計の分野では逆立ちしてもかなわないくらいもっと上がっているけれど、電気やソフトの知識があつてなおかつお客様とコミュニケーションをきちんと取る能力を一人



JBA ボランティアをきっかけに2010年、マラソンを開始。ランニングクラブで妻とも出会った。

の人間が持つていれば、自分にしかない強みになるのではないかと考えたのです。

海外向けカスタマーサービスに異動といっても英語は全然ダメでした。でも異動後のやりとりは基本は英語。やらなければならない環境にいと一生懸命やるものですね（笑）。そのうちに私が設計にも関わったBlu-ray計測器のアメリカでの売上が上がってきたこともあり、現地にカスタマーサービスがいたほうがいだろうと、2007年にロサンゼルス駐在となりました。

### 厳しい時代を経て 新たなチャレンジへ

ところが10年頃からのネットストリーミングの台頭により、光ディスク計測器の需要が減少。光ディスクがいづれなくなることは誰もが分かっていたので、日本の本社も含め、新しい方向を見つけなければ将来がないと痛感していました。経営的に非常に厳しい時期が続き、いろいろと模索していく中で、13年にX線を利用した残留応力の計測器（上写真）を発売。今、これが当社の主力商品になっています。

ちなみに残留応力とは、物体に対して外から加わる力がなくなっても内部に残っている抵抗力のこと。例えば硬い金属でも、加工や熱処理条件により残留応力が残り、そのせいで時間が経つと疲労破壊の原因

になってしまうことがあります。これまでは残留応力を測るためには大型冷蔵庫くらいの大きさの装置が必要で、かつサンプルをカットして計測しなくてはならなかったのですが、当社が開発したものはポータブルに持ち運べ、サンプルをカットする必要もなく、短い時間で測れる画期的なものだったのです。日本では自動車関連メーカーを中心にマーケットが広がっています。一方でここアメリカの市場はまだ開拓途上です。当社の知名度や価格というだけでなく、必要な方にこの計測器の情報を届けられていないのが最大の課題だと考えています。

売るのは簡単ではありませんが、やはり売れた時はすごくうれしいですね。実は日本では営業の経験がなかったのですが、ここで残留応力計測器を販売し出してから見よう見まねで営業を始めました。一人オフィスでほかに人もいませんし、泣き言を言っても始まりません。やってみたら何とかなるものだと思いますが、まだまだチャレンジの途中です。このX線残留応力測定器をきちんと米国市場にいき渡らせることが今後の目標です。

### COMPANY INFO

Pulstec USA, Inc. ©パルステック工業株式会社の子会社として1996年に設立。南北米市場を担当。親会社のパルステック工業株式会社は69年の設立以来、産業用電子応用機器、検査装置の開発に取り組んできた。

Sapporo U.S.A., Inc.  
Director

みやはら たけし  
宮原武 さん

## 世界各国の食事と楽しめる ビールブランドを目指して

1969年ニューヨーク州生まれ。3歳の時に日本に移住。南イリノイ州立大学ビジネス学部を卒業後、帰国しSony Plaza社に勤務。96年に再渡米し、98年サッポロUSAに入社。2011～13年は別会社勤務を経て、14年にサッポロUSAに再入社。



### アメリカで学び、働きたいと 仕事を辞めて渡米

祖父が外国と商売をしていた関係で、父も外国の人と接する機会が多く、アメリカで学び働いていました。私も父の仕事の関係で幼少期から外国の人と会うことが多く、同じようにアメリカで学びたいと憧れを抱いていました。そして高校卒業後に南イリノイ州立大学に進学。卒業後はアメリカの会社で働きたいと思っていたものの、残念ながら就職先が見つからず、帰国して93年に若い女性向けの輸入雑貨や食品、衣類などを扱うSony Plaza（現PLAZA）に入社しました。楽しい日々でしたが、アメリカで再度学び、働いてみたいという気持ちが次第に強くなり、96年、何の保証もないのに会社を辞めて再渡米しました。

LAの学校でビジネスを専攻した後、98年に縁があってサッポロUSAに営業として入社。ビール好きであることに加え、仕事を通して多くの方に会え、とても面白い仕事だと思



「頻繁に出張する私の仕事を家族は理解してくれているのですが、もう少し家族との時間を作るのが目標です。」

事だと思いました。時にはうまくいかなかった方もありますが、最初厳しかった方が何度も通う

うちに理解してくださり、当社のビールを扱ってくださるようになるなど喜ばしいこともありました。こうした人との出会いは一期一会で、いつも神秘的だと感じます。

### 米系市場の広さと これからの可能性

入社4年目の2002年、日系市場の営業から米系市場の担当へ異動となりました。この変化は私にとって大きな意味を持ちました。日系と米系の卸しさんではビジネスのマインドも文化も違うことを知るなど、学びの連続でした。また当社のビールは日系市場では普及していますが、米系市場を見ると日系ビール大手3社合計でも全体の1%以下の売上です。まだまだ日本のビールは売れていませんし、つまりそれだけ伸びしろがあるということに気がしました。

米系レストランに飛び込み営業をすると、「日本食は置いていないから」と断られることが大半ですが、日本のビールだからといってアメリカの食事に合わないわけではありません。そうした時はアメリカの食事とのペアリングをしてもらい、まず固定観念を外すところから始めます。当社のビールは日本食と一緒に飲んでいただくのがコアですが、その頃から、日本食以外にも一緒に楽しんでいただけるビールにしたいという思いが芽生えたのです。

11年には日本酒輸入会社の知人から、日本の地ビールのアメリカでのブランド立ち上げを頼まれ転職。小さな村で水にも原料にもこだわって造られたビールでしたので、ストーリーを大切にしながら、デザインからマーケティングまで関わりました。わずか3年関わっただけですが、着実に取り扱いが増え、大きなやりがいがありました。

その後14年にサッポロUSAから再び声をかけてもらい、悩んだ末に新しいチャレンジに惹かれて再入社。西海岸の日系営業チームの統括を担当することになりました。かつて在籍していた時との違いは、日系市場が飽和状態にあることから、日系担当がアジア系市場も担当するようになったことです。3年前からは全米、メキシコの日系&アジア系市場も統括をしています。

アメリカは都市によって市場性が異なります。現場の営業と共に多くの人と会い、その地域に合ったニーズを見つけていく作業が私にはすごく興味深いですね。それを通して、日本食に留まらず、アメリカ各地にある世界各国の食事と楽しめるビールブランドを目指していきたいと考えています。

#### COMPANY INFO

Sapporo U.S.A., Inc. ©1984年設立。サッポロホールディングス株式会社のグループ会社で、サッポロビールのアメリカにおける販売会社。現在、米国で扱っているのは「Premium Beer」「Premium Black Beer」など4種。

## オレンジカウンティ地域部会

### アッパーニューポートベイ自生植物保護活動と日本食お弁当ピクニック

文: Willis Towers Watson・安藤秀太郎さんの妻、美乃さん

2017年11月12日(日)、オレンジカウンティ地域部会主催のイベント「アッパーニューポートベイ自生植物保護活動と日本食お弁当ピクニック」が開催され、約30名の方が参加されました。

今回の活動内容は苗の植え付けでした。担当スタッフの説明を聞き、曇り空の中、作業スタート。まずはスコップなどで穴を深く掘り、鉢から苗を出し植えます。土を丁寧にかぶせ苗のまわりには円を描くように表面を凹ませ円の外側は

土手を作るイメージで少し高さを出し固めます。最後に土全体に水が染み込むまでたっぷりの水を注ぎます。この時、水が土手から流れ出ないようにとスタッフから念入りな指導もあり、自然を守る大切さを改めて感じました。

苗の数量はそれほど多くなかったのですが、乾燥した硬い土を掘ったり水入りバケツを繰り返して運んだりして心地よい疲れが。お子さんたちも率先して作業しており、その姿は頼もしかったです。皆さんとのお喋りや笑いもあり楽しい作業となりました。

農作業の後に配られた唐揚げ弁当とお茶がおいしく、疲れが吹き飛びました。アッパー

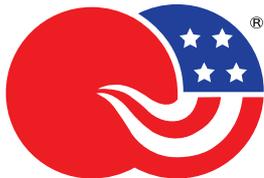


ニューポートベイの建物内ではこの地域に生息する動物植物に関するビデオ鑑賞もあり、珍しい生物の観察もでき、少し歩いた先では馬に会うこともあり家族で楽しめる場所としてもお勧めです。

今回の活動は学生さんはボランティアクレジットをもらえることもあり、近隣の高校生たちも多く参加していました。我が娘も高校生になり初めてボランティアクレジットをいただきました。自然と触れ合う素晴らしいボランティア活動に家族で参加できたことを大変うれしく感じます。



## 北川 & イベート法律事務所



**KITAGAWA & EBERT, P.C.**

**(949)788-9980 日本語でどうぞ。**

**www.JAPANUSLAW.COM**

With Lawyers Licensed in Multiple States Including  
CALIFORNIA • TEXAS • NEW YORK • GEORGIA • NEVADA • U.S. PATENT • WASHINGTON DC  
北川・イベート両弁護士ともにMartindale-Hubbell Peer Reviewにおいて“AV PREEMINENT” (法的能力・道徳性) 評価

WALL STREET JOURNAL. Chicago Tribune Los Angeles Times 弊社勝訴が各誌にて紹介

### 必勝・難題解決のプロ・良心的

- 訴訟・仲裁・裁判・債権回収
- 契約法・ビジネス取引・流通
- 雇用法・残業・セクハラ・RIF
- 資産売却・M&A・無税法人再編成
- 不動産・リース・建設・売買
- 税務争訟・遺産・相続

**北川 リサ 美智子 弁護士**

京都大学法学修士  
東京大学法学研修

CALIFORNIA, TEXAS, NEW YORK, GEORGIA 連邦最高裁判所認可弁護士

(MAIN) 300 SPECTRUM CENTER DR. SUITE 960, IRVINE, CA 92618-4998  
(TEXAS) (BY APPT.) 5851 LEGACY CIRCLE, 6TH FL., PLANO, TX 75024

### 自動車リースは

アメリカでクレジットが無いと出来ないと考えていませんか??

- ソーシャル・セキュリティ番号がなくても、または申請中でも OK!
- 全米どこでも OK! どんな田舎でも、都会でも OK!
- どんな車種でも OK! シビック、カローラ、カムリ、アコード、などの日本車、アメリカ車、ヨーロッパ車、何でも OK!
- リース期間は1年から OK!
- 15ヶ月とかの変則月数でもリース可能です。
- リース料は契約期間が長くなるほど安くなります。
- リース終了後は月極めで延長も可能です。
- 納車は注文からわずか1週間ほどで可能です。
- 自動車保険の手配もお任せ下さい。

\* 現在のリースプログラムを三菱電機社、NEC社、PANASONIC社など各企業の皆様に全米でご利用いただいております。



いえ、出来るんです  
どなたでも、全米どこの町でも OK!

お気軽に電話または e-mail でお問い合わせください。

**電話: 213-621-7775**

担当は、大橋: ohashim@pacbell.net

又はゆきまさ: yukimasa@pacbell.net

**朗報** カリフォルニア州の皆さんには、格安中古車リースもありますので、在庫車種をお問い合わせください。

\* 各種情報はウェブサイトでも、ご覧になれます。

**www.LaJapaneseAuto.net**

親切で安心して任せられる 36年の実績信頼 小東京で1980年創業

**LOS ANGELES JAPANESE AUTO**

810 E. 1st St., Los Angeles, CA 90012 • Tel: (213) 621-7775 • Fax: (213) 687-0909

## ダウンタウン地域部会

### カレッジフットボール観戦(USC vs UCLA)

文:Mitsui Sumitomo Marine Management (USA)・平岩幸治さん

2017年11月18日(土) USC (南カリフォルニア大学) 対 UCLA (カリフォルニア大学ロサンゼルス校) の永遠のライバル同士の伝統の一戦を観戦。今年はUSCのホームゲームでありLAメモリア



キックオフ前。

ル・コロシウムで開催されました。

キックオフは午後5時。4時半ごろからマーチングバンドなど各種イベントが行われていた時は空席が目立ったものの気が付けば超満員のスタンドで8割以上がUSCのエンジ色に染まりました。カレッジフットボール界屈指のポケットパサーであるUSCのSam DarnoldとUCLAのJosh Rosenの対決も注目の一つ。

今シーズンのUCLAは調子が今ひとつ。会社のUCLA出身の同僚の話でもUSCが圧倒的有利という話を聞いていたのですが、序盤はUSCはラン中心、UCLAはパス中心の戦略で思いのほか



エンジ色に染まった超満員のスタンド。

接戦となりました。最終的には28対23でUSCの勝利。UCLA側に敵陣奥深いエリアでの詰めの甘いプレーが2回ありそれが響いてしまったように感じました。

伝統校ライバル同士の戦いは日本よりアメリカの方が盛り上がりやすいですね。来年はUCLAのホームであるローズボウルでの開催。来年もぜひ観戦に行きたいと思えます。

## 新入会員

KATAOKA-SS AMERICA CORP.

21255 Hawthorne Blvd., Torrance, CA 90503

☎ 310-802-7180

驚きのワンダープライス!

## ワンズレンタカー ロサンゼルス空港店

コンパクトからミニバンまで  
人気の車種を取り揃えております!

エコノミー

**\$25**  
/1day



TOYOTA COROLLA (トヨタカローラ) 等

ミニバン

**\$67**  
/1day



TOYOTA SIENNA (トヨタシエナ) 等

ハイブリッド



**\$37**  
/1day

TOYOTA PRIUS (トヨタプリウス) 等



JBA 会員様へは、マンスリーや  
中長期レンタルを特別価格で!  
まずはお気軽にご相談ください!

ご予約・お問合せはお気軽にお電話ください

**310-634-7112**

5250 W. Century Blvd. #106, LA, CA 90045

One's rent-a-car

さようなら  
深夜残業。

こんにちは  
早朝出勤。(苦笑)

ルールだけでなく、ツールで新しい働き方を

 **kintone**

<https://www.kintone.com/jp/>

## 1月 2月 のJBAイベントカレンダー

1/17  
(水)

**賀詞交歓会**  
企画マーケティング部会

1/19  
(金)

**第209回ビジネスセミナー**  
企画マーケティング部会

1/20  
(土)

**スーパークロス観戦**  
オレンジカウンティ地域部会

1/28  
(日)

**レーガン元大統領図書館訪問**  
ダウンタウン地域部会

1/28  
(日)

**植樹ボランティア**  
サウスベイ地域部会

2/1  
(木)

**トランス/ジャパンビジネスレセプション**  
サウスベイ地域部会

2/10  
(土)

**クッキングクラス**  
オレンジカウンティ地域部会

2/11  
(日)

**マジックキャッスル・ディナー**  
ダウンタウン地域部会

2/17, 18  
(土, 日)

**Genesis Open観戦**  
ダウンタウン&サウスベイ地域部会

2/20  
(火)

**JBA 57th Anniversary Reception**  
商工部会

Save the Date!  
**3/16(金)/2018**  
2017年度  
JBA総会&あさひ学園総会  
4:00pm  
Reception: 6:00pm  
Miyako Hybrid  
Hotel

JBAの年1回の締めくくりの総会です。  
ぜひご出席ください。

各イベントの詳細は、JBAウェブサイトをご参照ください

## 新任の車の手配は面倒だと聞いた。間違いだった。

社用車からご家族のお車までガリバーにご相談下さい。日本企業ならではの細やかさでお応えします。

**低金利ローン  
& 保険**

新規赴任者向けのプログラム  
を大手保険会社と連携実現。

**日本でやりとり  
すぐに乗れる**

事前にメールでやりとりして  
渡米してすぐに車に乗れます。

**あんしんの保証  
サポートも万全**

プレミアム1年保証で購入後  
に発生した修理代金を保証。

高額買取  
いたします

売却もガリバーへ

買取累計  
**13,000台**

アメリカでも、中古車選びは  
**ガリバーへ**

お問合せ Torrance / Los Angeles / Orange Country  
**1-800-783-0271** 法人窓口: 大塚・佐藤まで  
24H オンライン受付

## パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム 米国駐在員のための金融サービスパッケージ

- ・渡米前に日本からの口座開設が可能
- ・便利な日本語コールセンター (Union Bank®\*1・ジャパニーズ・カスタマーサービスユニット)
- ・ご帰国後の口座管理にも便利

まずは日本語コールセンター **1-888-507-7669** (フリーダイヤル・日本時間にも対応)まで  
お問い合わせください。

**UnionBank®**  
A member of MUFG, a global financial group

\*1 法人名の邦訳: ユニオンバンク

©2018 MUFG Union Bank, N.A. All rights reserved. Member FDIC. Union Bank is a registered trademark and brand name of MUFG Union Bank, N.A. Visit us at [unionbank.com/japanese](http://unionbank.com/japanese).